

ホタルの光は、 なぜだらけ

— 光る生き物をめぐる身近な大冒険 だいぼうけん

名古屋大学大学院
生命農学研究科・助教 博士(理学)

大場裕一
Oba Yuichi

くもん出版

午後は、自動車で島を一周しながら、ホタルミミズ探しを続けました。一度見つけてしまうと、次つぎとおもしろいように見つかります。小学校の校庭や道路わきの駐車スペースなど、この日だけで、合計八か所で見つかることができました。

やはり、八丈島にもホタルミミズはいました。そして今回の調査で、ホタルミミズがとくべつめずらしい種類ではないということが、さらにはつきりしました。

今回のこの発見は、わたしたち三人の写真とともに、島の新聞に紹介されました。

このように、ホタルミミズがめずらしくないとわかったのはまだ最近のことなので、新しい場所で見つかる、きつとニュースになりますよ。ひよつとするとみなさんも、地元初の発見者になり、新聞にのるかもしれません。

実際に、愛知県安城市の今池小学校で、わたしがホタルミミズの探しかたを授業で話したところ、四年生のみなさんがさっそく校庭で発見し、地元の新聞に大きくのりました。

担任の先生の話では、一度こつを覚えると、小学生は大人よりも、ずつとすばやくホタルミミズを見つけれられるようになったそうです。きつと、小さな生き物をじっくり観察する能力が、大人よりも高いのでしょね。

どうですか。みなさんも同じようにホタルミミズをつかまえて、光らせてみたくなってきたでしょ